

日本の教育を取り戻す

中村学園大学教授

歴史と学びの再建の 占部賢志

ために

「深い学び」・「聖徳太子」・「元寇」

子供たちを取り巻く環境に大きなひずみが生じている。いま教育の現場で何が起きているのか。最前線に立つ教師は何をなすべきなのか。一教諭の立場を貫き、真正面から教育に取り組んでこられた占部賢志氏に、教育界の現状をもとに教育再建の道を探っていただく。

うらへけんしー 昭和25年福岡県生まれ。九州大学大学院博士課程修了。高校教諭を経て、現在、中村学園大学教授。傍ら、NPO法人アジア太平洋子ども会議「イン福岡」日本のことも大使育成塾「塾長」などを務める。著書に「語り継ぎたい美しい日本人の物語」「子供に読み聞かせたい日本人の物語」(ともに致知出版社)などがある。

に、主体的に学ぶための技法を教えられていないのです。たしかに「調べ学習」というのが流行っていますよ。しかし実態はひどいものです。今日は「調べ学習」の時間だと言われ、図書室に入れられて、さあ環境問題をテーマにいろんな本で調べてノートを作りなさいと指示される。そして、いつの間にか教師の姿は消えている。そんな繰り返しで、具体的な方法は、教えられた覚えがないというのです。

カタカナ語を削除した文科省の勇断

教師A 二月半ばに小中学校の学習指導要領案が示されました。ざっと見て驚きました。先生がカタカナ語で教育改革を語るなど幾度も本欄で指摘されていましたが、「アクティブ・ラーニング」の用語が最終案の段階で消えましたね。

占部 もちろん、その趣旨は「主体的・対話的で深い学び」という日本語で残されていますが、思い切ってカタカナ語を排した文部科学省の勇断には拍手を送ります。

これで、昨今のカタカナ語づくしで教育が論じられる風潮に一定の歯止めがかかるのではないかと、そう感じた次第です。

PTA役員 でも、「深い学び」というのは、抽象的でわかりにくいですね。

占部 たしかにそうですね。こう理解してみてはいかがでしょう。本来は「主体的な学び」と「対話的な学び」で十分に思えるけれども、時にあらぬ方向に流れがちなのです。そうした懸念に歯止めをかけるために「深い学び」の一句が設けられたということ。私はそう見えています。

例えば、「主体的な学び」と言っても、下手をすれば「ほったらかし」の学びになりかねません。PTA役員 えっ、どういうことでしょうか。

占部 大学生に聞いてみますと、意外に多くの学生が小中高の時代

「聖徳太子」の表記が変わる

教師B ところで、社会科学から「聖徳太子」が消えたとは騒がれていますね。正確には、小学校では「聖

徳太子(うしろのわらわ)」と、中学校では「厩戸王(聖徳太子)」という案が示されたわけです。これについて先生はどう思われますか。

占部 高校では山川出版社の教科書も、「厩戸王(聖徳太子)」となっていますね。おそらく、歴史は客観的に記述すべきだから、後世の人間による太子信仰のような評価を示す用語は排する方がよいという考えが根底にあるのだと推測します。

しかし、聖徳太子という名前は千年以上に及ぶ歴史の重みがあります。ということは、長い時の流れにも淘汰されずに受け継がれてきた、知らない者はいない呼び名です。それだけの名前を表記することは、むしろ歴史に対して公平ではありませんか。

もちろん、厩戸王もカッコ付きか、若しくは脚注に記述して教えるべきですが、その逆の扱いは慎むべきです。禍根を残しますよ。教師A こうした動きの背景には、以前騒がれた十七条憲法や仏典の注釈書などは太子の作ではないという考え方があるとは思いませんか。占部 ええ、あると思いますね。そうした一部の研究者の主張が教

科書に反映されるのも、一つは史料の扱いが不適切だからです。

例えば、十七条憲法の第一条ならば、全文を載せるべきなのだと、ところが、いずれの教科書も判で押したように、「二に曰く、和を以て貴しと為し、忤ふこと無きを宗と為す」の書き出しの箇所しか載せないのです。

教師B たしかにそうですね。

占部 そこに問題の根があるので。教科書の編纂者は太子が説いたのは「和」なんだという知識が伝わればよいと思っているから、前後の文脈を無視して一文だけをつまみ取る。ですから、ああそれならすでに「論語」の中で和の大切さは説かれている。太子の独創ではなく、模倣だと即断するので

「いかに書かれているか」を見よ

占部 そもそも、史料というものは何が書かれているのか以上に、「いかに書かれているか」が大事なのです。例えば、『論語』の「学而第一」には和についてこのように説かれています。

「有子曰く、礼の用は和を貴しと為す。先王の道斯れを美と為すも、小大之に由れば、行はれざる所あり。和を知つて和せども、礼を以て之を節せざれば亦行はるべからず」

一方、太子の十七条憲法の第一条全文は次の通りです。

「二に曰く、和を以て貴しと為し、忤ふこと無きを宗と為す。人皆党有り、亦達れる者少し。是を以て或は君父に順はず、忤ふ隣に違ふ。然れども上和ぎ、下睦ひて事を論ふに諧ひぬるときは、則ち事理自ら通ふ、何事か成らざらむ」

教師C この二つの史料をどのように見たらよいのでしょうか。

占部 まず『論語』の方はこういう意味です。「礼」、すなわち世の中の規範というものは、和の心遣いがあるからこそ有用に働くものなのだ。だから歴代の王も和を大切にしたのである。

しかし、大事も小事もすべて和を第一にすれば、それはそれで規範は崩れる。したがって和を大切に

以て抑制しなければ世の道理は実現できない。

要するに、和と礼の相互補足の関係が説かれているのです。

教師A 和の弱点を礼という規範で補わなければダメだというわけですね。

占部 ところが、憲法第一条は見解が異なるのです。まず和は何よりも大事であると明示。そして引き続き説かれるのは、その和がいかに難しいかという点です。

人は我執にとらわれることもあれば、仲間内で固まって排他的にもなる。そう人間の暗部を洞察する。この点が『論語』とは明らかに違う。

教師B 『論語』は理論的に理解させるやり方で、十七条憲法は自分の心を見つめることで気づかせようとしているように思います。

占部 そう、その通り。太子の場合には実に反省的です。反省から物事の本質に迫る。これが日本人の道徳観と言っている私には思いません。このように、いかに表現されているかを見極めることで、初めて太子のオリジナリティが見えてくるのです。太子の『三経義疏』の場合も同

広告

ストレス・脳(心の)健康対策へ...ヘッドホンのように、頭部に付けるだけ! ~穏やかな電気信号による、心地よい頭部への刺激~ 小形でとても簡単! どなたでも実感『1週間 お試し体験(レンタル)受付中!』

“ブレイン・パワー・トレーナー”

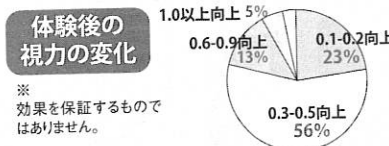
航空自衛隊に採用後、全省庁統一資格をも取得、国家機関で認められた実力

- 平成5年 視力向上・ストレス軽減が認められ、航空自衛隊に正式採用(その後、海上・陸上自衛隊にも採用)
平成6年 長嶋巨人軍の秘密兵器(メンタルトレーニング器)として日本一へ貢献
平成16年 海上自衛隊の推薦により、「全省庁統一資格」を取得

実証実験 被験者420人(体験時間30分)

脳活性は、視力アップで即実感できます!

物を見るのは「目」ですが、その状態を認識し理解するのは「脳の働き」です。これを「脳内視力」と言い、脳の活性具合を、視力の回復によっても知る事ができます。図は、「ブレイン・パワー・トレーナー」を420人に被験者に30分使ってもらった結果、なんと97%の方の視力が回復しました。つまり、97%の方が、「脳の状態に改善が見られた」実証と言えます。



簡単! 脳トレーニング(脳活性)の始め方は3つ! 1 ご購入 / 2 お試しレンタル / 3 当社体験ルームへのご来場 全て下記、フリーダイヤルまでお気軽にご連絡ください。

安心の30日間 全額返金制度 新感覚・頭(ヘッド)マッサージ 穏やかな振動でリラックスへ!



- サイズ:縦92×横125×高さ20mm / ●重さ:約128g(電極含む)
●定格入力:100V~240V 50/60Hz
●電圧アダプター:DC9V500mA
●出力周波数:138Hz/141Hz/143Hz/145Hz/147Hz/151Hz
●タイマー:15、20、30分
●使用電池:リチウムイオン電池 / ●充電時間:8時間
●梱包内容:本体1台、ヘッド部(大小各1)、ACアダプター1個、コットンカバー、コットン見本、取扱説明書
●1年間保証

株式会社ACC ブレイン・セラピー 0120-151-644 FAX03-6459-0682 105-0011 東京都港区芝公園1-2-17 芝公園シティハイブ8F Mail:info@acc-brain.jp HP:http://www.acc-brain.jp

読書・旅行・スポーツ等の趣味や、家事・仕事が、「おつくう」と感じる方に!

「趣味や仕事、あきらめていませんか?」

- ① 眼精疲労 ② 認知症予防
③ たるみ対策 ④ ストレス対策
⑤ 睡眠対策

これまでに、大変多くの「致知読者」の方に、ブレイン・パワー・トレーナー(以下、当機)をお試し頂きました。皆様にご使用前に、当機への期待項目のアンケートをさせて頂いたところ、トップ5は、以下の通りでした。

日本の教育を取り戻す

じです。かつて仏典の注釈書が敦煌で大量に発掘されて以来、歴史学者の藤枝晃氏などはこの敦煌本と『三経義疏』の一つ『勝鬘経義疏』とを比較照合し、かなりの箇所が同一表現に近い。したがって、独創性などないに等しいと提起したことがありますが、これも字面の照合でして、義疏を読みこなしたわけではないのです。



元寇古戦場「鹿原山」(福岡市早良区昭代一丁目)

先行文献を随所に挙げているのです。それより何より、敦煌本とは異なる表現もあるわけで、そこをこそ見るべきなのです。例えば、先行文献の仏典解釈を引きながらも疑問が生じれば、太子は「私の意は少しく安んぜざるが故に」とか「私の積は少しく異なれり」と断って独自の解釈が披露されているのです。そうした大事な表現に無頓着な研究者が多い。そんな人に限って

「元寇」が後退し、「モンゴル」が前面に

教師C ほかに気になったのは、中学校では「元寇」が「モンゴルの襲来(元寇)」と言い換えられるそうです。

占部 それは、おそらく、世界的な視野から理解させたいとの理由から、世界史と共通のモンゴルを

前面に出したのでしょう。さらに付度すれば、「元寇」という言葉は幕末から明治にかけて、国防意識を高めるために用いられるようになったものだから、これも客観性を欠く。そこで改めた。そんなところだと思います。教師C しかし、モンゴルの襲来と表記すれば、高麗や元の江南軍の来襲が分かりづらくなります。占部 そうですね。世界史の枠組みから日本史を見る方針は大いに結構ですが、用語まで無理に同一にしなくてもいいのです。むしろ、児童生徒に誤解を与えかねない記述の方が困る。

な「蒙古襲来絵詞」の絵がありませぬ。あの三人の箇所は江戸時代になって切り貼りされたものだということが分かっています。それから、鎌倉武士が一騎打ちだったのに対して、元軍は密集戦法で襲ってきたため苦戦したと教えていましたが、これも史料を精査すると、我が方も集団戦法だったことが判明しました。教師A 有名な暴風説についてはいかがですか。占部 第一回の文永の役では上陸されて苦戦を強いられたが、折からの暴風によって元軍が退いたため助かったというのが教科書記述でした。しかし新たな調査で、元軍が拠点とした博多湾を臨む鹿原山が鎌倉武士に逆襲され、ついには海上に退散する。暴風はその後に吹いたようです。

PTA役員 明らかな誤りは変えるべきですが、そうでなければ、改訂は慎重にして貰いたいですね。教科書を通じての親子の対話などがやりにくくなりかねません。占部 元寇の取り扱いについては、むしろその中に問題があります。最新の研究では、「蒙古襲来絵詞」の再検証や新資料の発掘などによって従来の説明が成り立たなくなっているのです。教師B どういう点でしょうか。占部 例えば、モンゴル兵三人が竹崎季長が乗る馬を射ている有名な

これらのことから、元寇に対する見方がどう変わるのかという肝心の点ですが、外敵の侵略から我が国を守る事が出来た最大の要因は鎌倉武士の奮戦のたまものだったということ。この視点はこれからの歴史教育において重要になって来ると思います。教科書にも反映すべきですね。

送信する面をご確認ください

FAX 03-3796-2109

新刊

CD

掲載ページ	書籍名	価格(税抜)	ご注文数	商品コード
31, 138	【新刊】人生に迷ったら「老子」(田口佳史・著)	1,400		1140
65, 138	【新刊】活学新書 山鹿素行修養訓(川口雅昭・著)	1,200		1143
79, 138	【新刊】川崎葉子(カワヨウ)の魔法の「1日26時間」(川崎葉子・著)	1,500		1141
109	【新刊】素読のすすめ(川島隆太、齋藤孝・著)	600		1144
142, 143	【新刊・CD】宇宙が応援する生き方<全4巻>(小林正観)	12,000		8132
19, 143	【DVD】照らされて光る(横田南嶺)	5,800		8131
143	【CD】『十牛図』に学ぶ(横田南嶺)	12,000		8126
143	【CD】三師の説法(横田南嶺、宮本祖豊、塩沼亮潤)	12,000		8121
143	【CD】一道を究める<全3巻>(鍵山秀三郎・坂田道信・横田南嶺)	12,000		8108
29	国民の覚悟(中西輝政・著)	1,500		936
29	賢国への道(中西輝政・著)	1,500		984
31	ビジネスリーダーのための老子「道徳経」講義(田口佳史・著)	2,600		1135
65	山鹿素行「中朝事実」を読む(荒井桂・著)	2,800		1051
96, 97	心に響く小さな5つの物語(藤尾秀昭・文、片岡鶴太郎・画)	952		872
96, 97	心に響く小さな5つの物語II(藤尾秀昭・文、片岡鶴太郎・画)	952		938
109, 139	楽しみながら1分で脳を鍛える速音読(齋藤孝・著)	1,300		1134
119, 139	ママ、死にたいなら死んでもいいよ(岸田ひろ実・著)	1,400		1137
その他ご希望の商品				

※お支払いは、商品に同封いたします専用のお振込用紙をご使用ください。
 ※送料350円(1回の発送につき、3,000円(税込)以上はサービス)。

ご送付先	<input type="radio"/> 自宅 <input type="radio"/> 会社	読者番号	2						
フリガナ	※いずれかに○印をつけてください								
氏名	TEL			自宅:					
会社名	会社:								
住所	〒								

24時間受付 FAX 03-3796-2109

※巻末のハガキまたはお電話(03-3796-2118)でのお申し込みもご利用ください。

致知オンライン で 検索

人間力を高める致知出版社のWEBコンテンツ

購読無料!

致知「致知」読者限定
 『致知』おかみさん便り
 致知出版社のおかみさんこと、お客様係・小笠原節子より、季節のお便りやお得情報を配信中!

このイラストが
目印です!

致知おかみさん で 検索

ユーザー名「okami」
パスワード「okami」でログイン

あなたの人間力を高める
 致知出版社の
 「人間力メルマガ」

『致知』に掲載された記事の中から、あなたをやる気にする言葉や、感動のエピソードが毎日届きます。

人間力メルマガ で 検索

携帯メルマガ
 『致知』一日一言
 言葉のエネルギー

あなたのケータイに毎朝配信!
 『致知』でご紹介した記事の中から、きょう一日の活力源となる選りすぐりの名言を配信します。

致知携帯メルマガ で 検索

ファン数93,000人突破
 致知出版社の
 公式フェイスブック

いいね! を今すぐクリック
 大好評の一日一言、最新号の読みどころ、話題の書籍やイベント情報など、人間力を高める様々な情報を配信中。

致知フェイスブック で 検索

編集後記

▼五月号の特集は「その時どう動く」です。トップ対談を飾るのは、相田みつを美術館館長・相田一人さんと円覚寺管長・横田南嶺さん。書家で詩人の相田みつをさんの「そのときどう動く」という作品に込められた思いやエピソード、相田みつをさんの生き方から学ぶことについて、語り合っていたいただきました。人生のまさか直面に立ち、どう動けばいいのか。そのヒントに満ち溢れています。

▼京都大学名誉教授の中西輝政さんと「救う会」会長の西岡力さんには、トランプ大統領の誕生と緊迫する朝鮮半島情勢を中心に、世界の現状をお話しいただきました。日本の直面する危機がいかに深刻かを痛感するとともに、本質から外れた議論に時間を費やしている国会に苛立ちが募ります。

▼吉田松陰の志を継ぎ、幕末という激動の時代を駆け抜け、明治維新の原動力となった高杉晋作。三十年以上にわたり晋作に向き合い続けてきた一坂太郎さんに、その生涯を語っていただきました。

▼靴商店インターナショナル社長の酒井明さん。壮絶な半生を振り返ってのお話は、実に多くの示唆をいただきました。

▼難病と闘いながら障害者の自立のために全力で駆け抜けるLIFESSET代表理事・櫻井理さんの熱意に圧倒されます。

▼家庭環境に恵まれない子供たちに無償で食事をつくり続ける中本忠子さんの姿に、慈悲心とは何かを教えられる思いです。

▼清掃業で四国一の売り上げを誇る四国管財。社長の中澤清一さんに、営業をしないユニークな経営手法について伺いました。

▼津波模型をとらえて防災意識の啓発に尽力する宮古工業高校実習教諭の山野目弘さん。東日本大震災で自宅や知人を失うという逆境から立ち上がった経験をお話していただきました。

▼前会長の巨額借入金問題で大玉製紙に突如激震が走ったのは平成二十三年秋のことでした。当時、社長に就任して間もない佐光正義さんは、その時を機にどう会社を立て直したのでしょうか。旧知の問柄で、赤

お知らせ

字だった地方病院を立て直した鎌田實さんとともに、事に処するリーダーのあるべき姿を語り合っていました。

▼巻頭の言葉「の執筆陣に、裏千家家元の千玄室さんに加わっていただきました。

▼連載「禅語に学ぶ」は休載です。

▼第七回社内木鶏全国大会成功事例発表大会&藤尾秀昭講演会、パーティーin東京が五月十三日(土)午後一時から新宿の京王プラザホテル東京で開催されます。関東、甲信越、関西、中国、四国の各ブロックから選ばれた五社の社内木鶏企業が映像を交えながら日頃の取り組みや効果を実践報告定員は千二百名。どなたでもご参加いただけます。詳しくは本誌二頁をご覧ください。

▼岸田ひろ実さんの初の自叙伝『ママ、死にたいなら死んでもいいよ』が好評です。障害のある長男の出生、夫の突然死、そして自身の大病……。様々な試練を乗り越えてきた岸田さんの前向きな生き方に勇気を与えられる一冊です。ぜひお求めください。

致知

- 5月号(通巻502号)
- 定価1,050円(送料別・消費税含)
- 平成29年4月1日発行
- 編集発行人/藤尾秀昭

- 発行所/致知出版社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-24-9 TEL.03-3796-2111(代表)・03-3796-2113(編集) FAX.03-3796-2108
- 購読料/1年間10,300円・3年間27,800円(消費税・送料含)
- 購読お申し込み/巻末の綴じ込みハガキまたは ☎0120-149-467
- ホームページ/http://www.chichi.co.jp
- Eメール/cc@chichi.co.jp(『致知』のお申し込み、その他お問い合わせ) books@chichi.co.jp(書籍のお申し込み、お問い合わせ)

©無断転載を禁ず